

大学卒業生が廃棄した自転車

広告付け無料レンタル

バイクオフ 100大学導入目標

バイク販売のバイクオフコーポレーション(福島県いわき市、稲本勝美社長)は今年秋、大学構内の放置自転車を回収・修理し、広告を付けて学生向けに無料でレンタルする事業を始める。学生は四年間無料で使用でき、企業は学生に対象を絞った広告宣伝効果が見込める。撤去費用の負担が無くなる大学側も歓迎しており、同社は三年で百大学への導入を目指す。

事業は大学単位で実施する。まず大学と覚書を締結し、卒業生が放置していた自転車を同社の負担で回収する。十月にも東北大学や福島大学など五大学程度で開始する。各大学で年間百五十台程度貸し出す計画で、そのうち三十台は、大学教授や留学生向けに提供



かごや車体に広告を掲載し無料で貸し出す

する。リサイクル可能な自転車は盗難照会后に問題が無ければ修理し、かごや車体、泥よけ、キーケースなど五カ所に広告を張る。防犯登録して、大学構内で新生入生らに無料で貸し出す。学生は転居が多いため、実家の連絡先の登録も求める。自転車

にはレンタル使用証明書を受け、警察の照会に対応できるようにする。修理作業平準化のため貸し出しは年四回に分け、抽選を実施する。申し込みはホームページで受け付ける。事業が拡大すれば、各大学周辺の自転車屋に修理を有料で委託するという。

自転車は卒業時に返却を求める。返却できない場合は、補償金を求めることも検討している。広告費は、かごなど一カ所に三十台分掲載した場合、六十万円程度になる見通し。一台当たり二万円だが、学生は大学周辺を四年間走り回るため、宣伝効果が見込める。ホームページにも企業の広告を掲載する。

同事業の自転車広告を取り扱う予定の広告代理店(東京・千代田)は、「テレビなどマス四媒体に接する機会が減っている若者向け屋外広告として価値がある」と指摘。地元小売店や特定大学の卒業生を採用したい企業、環境やリサイクルに力を入れる企業などの広告が見込めるとする。

は、三十大学で計四千二百台をレンタルし、〇九年八月期には百大学への拡大を目指す。各地に業務委託がフランチャイズ形式で代理店を開拓する計画だ。

二〇〇八年八月期に

いる。独立行政法人化で国立公立大学は支出見直しを迫られており、すでに十以上の大学から引き合いがあるという。

家庭ごみ有料化 「来夏にも実施」
仙台市長会見
梅原克彦仙台市長は十一日、市の廃棄物対策審議会がまとめた家庭ごみ

初となる。三越限定販売の商品も品ぞろえし、同店で年商一億円を目指す

シベールは三越日本橋本店(東京・中央)地下に販売店「麦工房」を仮出店した。写真。十二日に同店が地下食品売り場を全面改装するのに合わせ正式オープンする。シベールのデパ地下出店は大阪市の阪神百貨店に次ぐ二店舗目で、関東では



だ出のしいのもの比でラ

セブナ

インテック

福島県の研究機関のハ
イテクプラザ津若松校

用

とで県産品としてアピー
ルするほか、エゴマの主
同センターは搾りかす

なも